

## マテリアリティ(重要課題)に関するマネジメント状況

### 2022年度の目標と実績

単年目標の場合 ○：目標達成 △：一部未達または相応の理由で未達（数値目標以外）×：未達  
複数年目標の場合 ○：最終年度に達成見込み △：最終年度に対して微小な遅れ ×：最終年度に対して遅れ

マテリアリティ (重要課題)	中長期の取組み	2022年度の目標/取組み指標 (KPI)		2022年度実績	範囲	評価		
		目標年	定量目標					
持続可能な 地球環境の実現	イノベーションと 統合ソリューションによる 「カーボンニュートラル」の実現	新製品「製品使用時のCO <sub>2</sub> 排出量」改善率	2023年度	1.0%以上	2.8%	三菱電機 グループ	○	
		自社排出CO <sub>2</sub> 削減率	2023年度	2013年度 比30%以上	27%		○*1	
	「サーキュラーエコノミー」 実現への貢献	再生プラスチックの使用率（成形用材料・包装材 の調達量）	2023年度	10.0%以上	8.1%	三菱電機 グループ (国内)	△	
		プラスチック排出物の有効利用率	2023年度	90.0%以上	92.5%		○	
		高リスク拠点の水使用量の削減率（売上高原単位）	2023年度	2019年度 比4%以上	16%	三菱電機 グループ (海外)	○	
安心・安全・ 快適な 社会の実現	「安心・安全」、「インクルージョン」、 「ウェルビーイング」の事業での貢献	安心・ 安全	① 自然災害等の予防を含め、自然の脅威による被害の最小化に貢 献する製品やサービス、ソリューションの推進		 「次期静止気象衛星（ひまわり10号）」  水面状況監視サービス「みなモニター」  エコキュート	三菱電機 グループ	○	
			② 犯罪・事故抑止を含め、人為的脅威の回避や被害軽減、早期解 決に貢献する製品やサービス、ソリューションの推進		 カメラ映像から危険な行動を高精度に自動検知する技術を 開発			
			③ 労働力不足や人口減少・過疎化等の都市や社会の問題への適応 力向上に貢献する製品やサービス、ソリューションの推進		 道路維持修繕業務の効率化に向けて、クラウドAIを用い た道路マネジメントシステムの共同研究を開始			
		インク ルージョン	身体的制約（年齢・障がい等）や居住地域等の環境的制約による 影響を軽減する、製品やサービス、ソリューションの推進	 高齢者見守りサービス「MeAMOR」  AI×見守りサービスkizkia-Knight	○			
	ウェル ビーイング	より快適で健康的な暮らしの実現に貢献する製品やサービス、 ソリューションの推進	 「三菱電機・産総研 Human-Centric システムデザイン連携研 究室」を設立  ZEB関連技術実証棟「SUSTIE」がWELL認証のプラチナを取得  「エモコアイ」を搭載する三菱ルームエアコン霧ヶ峰「Zシ リーズ」発売	○				
あらゆる人の尊重	国際的な規範に則った人権の尊重	2021年度「人権インパクト・アセスメント」 結果に基づく重点取組み項目の特定と改善	2023年度	取組み不十分 項目ゼロ	取組み不十分項目に対する改善計画立案	三菱電機 グループ	△	
		2022年度「人権インパクト・アセスメント」による 人権の取組みの改善状況の把握率	2022年度	100%	100%		○	
		人権に関わる苦情対応の充実					<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティのお問い合わせ、各ハラスメント窓口、倫 理遵法ホットラインに加え、 JaCERを設置・運用</li> <li>オフィシャルサイト「サステナビリティに関するお問い合わせ」 の改善やJaCER加盟によるアクセシビリティや透明性の向上</li> </ul>	○
		人権教育のeラーニング受講率	2022年度	100%	100%		三菱電機	○

\*1 目標年の定量目標に相当する2022年度目標排出量を達成したため、○評価

単年目標の場合 ○：目標達成 △：一部未達または相応の理由で未達（数値目標以外）×：未達  
 複数年目標の場合 ○：最終年度に達成見込み △：最終年度に対して微小な遅れ ×：最終年度に対して遅れ

マテリアリティ (重要課題)	中長期の取組み	2022年度の目標/取組み指標 (KPI)		2022年度実績		範囲	評価	
		目標年	定量目標					
あらゆる人の尊重	サステナビリティに貢献する調達	責任あるサプライチェーンの構築に向けた主要サプライヤーに対するCSRアセスメント運営と人権侵害リスクの把握・是正		主要取引先300社に対し、CSR調査を実施。強制労働・児童労働といった重大な人権侵害がないことを確認		三菱電機グループ	○	
		サステナビリティ調達ガイドラインの方針策定（グリーン調達基準書とCSR調達ガイドラインの統合）		RBAプロセスに準拠した形で調達ガイドラインを作成するよう計画を見直し				
	すべての従業員がいきいきと働ける職場環境の実現	全社変革プロジェクト「チーム創生」の「骨太の方針」を踏まえ、人事制度の刷新を始めとした改革の実行		社内求人制度・社内求職制度の運用ルール見直しによる社内人財流動化の促進		三菱電機グループ（国内）	○	
		三菱電機職場風土改革プログラムの継続。特に、従業員エンゲージメント向上に向けた取組みの加速（定量目標は三菱電機のみ）		・三菱電機職場風土改革プログラムの各種施策を実行 ・国内関係会社での「働き方改革」を推進				
		従業員エンゲージメントスコア（三菱電機のみ） ※三菱電機で働くことの誇りややりがいを感じている社員の割合	2022年度	70%以上	54%			×
		ワークライフバランススコア（三菱電機のみ） ※従業員意識サーベイで仕事と生活のバランスが取れていると回答した社員の割合	2022年度	70%以上	66%			
	ダイバーシティの推進	新卒採用に占める女性比率の向上 （基準値：2016年～2020年度平均値） <sup>*1</sup>	2025年度	基準値比 1.2倍以上	1.3倍 <sup>*1</sup>	三菱電機	○	
		女性管理職比率の向上	2025年度	2020年度 比2.00倍以上	1.38倍			
		男性の育児休暇取得促進 （配偶者出産時の休暇取得者を含む）	2025年度	70.0%以上	76.1%			
		海外拠点幹部への現地ナショナルスタッフの積極登用		現地ナショナルスタッフ1名を上席執行役員に登用した他、海外拠点長への登用も実施		三菱電機グループ（海外）	○	
		法定雇用率を上回る障がい者雇用の推進と障がい者が働きやすい職場環境の整備促進 ※特例子会社（三菱電機ライフサービス株式会社、メルコテンダーメイツ株式会社）を含む	2023年度	2.50%以上	2.47%	三菱電機	△	
	労働安全衛生の確保と心身の健康の維持	災害度数率 <sup>*2</sup> の改善	2022年度	0.25以下	0.37	三菱電機	×	
		三菱電機グループヘルスプラン21活動の推進等による健康経営の確立を通じた、心と体の健康を維持して働くことができる職場環境の実現				三菱電機グループ（国内）	×	
ストレスチェックにおいて高ストレスとされた従業員の割合		2022年度	9.0%未満	9.8%（三菱電機）				

※1 2021年度からの通算

※2 100万時間当たりの全災害件数

単年目標の場合 ○：目標達成 △：一部未達または相応の理由で未達（数値目標以外）×：未達  
 複数年目標の場合 ○：最終年度に達成見込み △：最終年度に対して微小な遅れ ×：最終年度に対して遅れ

マテリアリティ (重要課題)	中長期の取組み	2022年度の目標/取組み指標 (KPI)			2022年度実績	範囲	評価
		目標年	定量目標				
コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの持続的強化	取締役会の実効性の向上	実効性評価を踏まえた取締役会・法定三委員会の継続的機能強化			第三者機関による2022年度取締役会実効性評価実施、評価結果を受けて改善	三菱電機	○
		独立社外取締役比率	2022年度	50%超	58%		○
	コンプライアンスの徹底	コンプライアンス研修の継続的実施			講習会、eラーニング、マニュアル配布等様々なツールを用いた教育を実施	三菱電機グループ	○
		倫理・遵法行動規範eラーニング受講率	2022年度	100%	100%	三菱電機	○
		公正な競争（独占禁止法違反防止）の推進 ・独占禁止法違反防止施策の定着・徹底：実践的な研修を継続実施、規則・ルールへの定着に向けたモニタリングの実施			独占禁止法教育を実施（三菱電機）	三菱電機グループ	○
		重大な独占禁止法違反事案の発生件数	2022年度	0件	0件		○
		汚職防止（贈収賄防止）の徹底 ・贈収賄防止施策の定着・徹底：贈収賄防止教育の実施、規則・ガイドラインの定着に向けたモニタリングの実施			贈収賄防止教育を実施（三菱電機）		○
		大切な情報を守る 情報セキュリティ活動	重大な情報漏洩事故発生件数	2022年度	0件	0件	三菱電機グループ
	情報セキュリティ関連法令規制違反件数		2022年度	0件	0件	○	
	情報セキュリティ成熟度レベル <sup>*1</sup>		2025年度	レベル2以上	2025年度達成に向けて着実に進捗	三菱電機グループ（国内）	○
	品質に関わる不正行為ゼロを目指した、品質風土改革の完遂	牽制機能の再構築 ・全製作所に対する年一回の品質監査の実施と改善推進	2022年度	実施率100%	100%	三菱電機	○
		技術力・リソース課題への対策 ・品質に関わる法令・公的規格遵守のためのシステム構築及び品質保証体制に関するインフラ整備等の投資計画の立案と実行			・オンライン規格閲覧サービス活用し最新規格確認の環境整備（アクセス数：23,470件） ・製品品質の法令・規格に関する相談窓口設立 ・法令・規格に対する開発・変更管理のチェック項目、内容の再整理	三菱電機グループ	○
品質コンプライアンス意識の再醸成 ・品質コンプライアンス意識向上、eラーニング実施・従業員意識サーベイにて品質に関する意識を調査		2022年度	受講率100%	・eラーニング受講率：100% ・一年に二回、品質に関する従業員意識サーベイを実施 ・品質理念規則に関する従業員意識サーベイの理解度：86%	三菱電機グループ（国内）	○	

※1 米国防総省が発行する、サイバーセキュリティ成熟度モデルの認証の枠組み

単年目標の場合 ○：目標達成 △：一部未達または相応の理由で未達（数値目標以外）×：未達  
 複数年目標の場合 ○：最終年度に達成見込み △：最終年度に対して微小な遅れ ×：最終年度に対して遅れ

マテリアリティ (重要課題)	中長期の取組み	2022年度の目標/取組み指標 (KPI)		2022年度実績	範囲	評価		
		目標年	定量目標					
サステナビリティを 志向する企業風土 づくり	社会課題解決に向けた中長期視点 での取組み推進	サステナビリティ推進を統合したサステナビリティ経営に向けたマネジメント体制 の強化 ・執行役員会議、取締役会へ3回以上報告 ・サステナビリティ委員会への事業部門の参画		・執行役員会議、取締役会へ3回以上報告 ・2022年10月度サステナビリティ委員会から事業部門参画	三菱電機 グループ	○		
		業務と サステナビリティの 関係性についての 理解向上	従業員意識サーベイで 新経営方針を理解している 社員の割合	2022年度		80%以上	71%	×
			従業員意識サーベイで 経営理念に沿った業務を 実施していると認識している 社員の割合	2022年度		75%以上	67%	
		共生社会の実現を目指す活動の推進 ・「地球環境」との共生：みつびしでんき野外教室関連の活動として、京都大学発 の環境ベンチャー「森バイオーム」が開発した生き物図鑑アプリ「BIOME」を 活用し、生物多様性の保全活動に貢献 【1,000名参加】 ・「地域社会」との共生：SOCIO-ROOTS基金を主体とした、障がい者支援を始め とした社会課題解決に資する団体への支援 ・「あらゆる人」との共生：科学技術、文化芸術・スポーツへの支援を通じた次世 代人財育成の推進				活動は着実に推進（但し、BIOME参加人数は目標未達）。	△	
	チーム創生の骨太の方針を中心とした組織風土改革の推進				挨拶、感謝、「さん」付けの推奨、心理的安全性ガイドライン 展開等の施策実施により推進	○		
	社会や人々の価値観の変化に対する 感度と適応力の向上	サステナビリティ委員会での社会動向に関する議論と対応		グローバルの法規制調査を実施の上、サステナビリティ委員会 にて議論、対応を検討		○		
透明性の高い情報開示に基づく、 ステークホルダーとの 積極的なコミュニケーションの推進	・サステナビリティレポートや統合報告書の発行 ・有識者ダイアログやサステナビリティレポートアンケートの実施		・2022年度にサステナビリティレポート及び統合報告書を発行 ・有識者ダイアログの実施 ・一般の方600名へのアンケートの実施		○			

中長期の取組みと2023年度の目標（17項目）は本報告書22ページを、これまでの実績はサステナビリティレポートのバックナンバーを、それぞれご覧ください。

▶ 中長期の取組みと2023年度の目標（17項目）

 報告書ダウンロード(サステナビリティ)